

平成 28 年
第 2 回町議会定例会

行政報告

(平成 28 年 6 月 8 日)

幕別町長 飯田 晴義

平成28年第2回町議会定例会が開催されるに当たり、当面する町政の執行につきましてご報告をさせていただきます。

(新庁舎の落成)

はじめに、新庁舎の落成について申し上げます。

平成26年8月に着工いたしました新庁舎が本年3月に完成し、去る5月6日に、64名の来賓をお招きし、オープニングセレモニーと落成式典を挙げていただきました。

新庁舎には、ゴールデンウィークに引っ越しを行い、5月6日のオープニングセレモニー後に業務をスタートしたところでありますが、着工から業務のスタートまで、滞りなく進めてこられましたことは、ひとえに議員の皆さんをはじめ、関係機関のご指導やご配慮、さらには町民の皆さんのご理解、ご協力の賜物であり、深甚なる感謝を申し上げる次第であります。

新庁舎は、大地震発生時においても行政機能、とりわけ災害対策本部の機能を発揮することができるよう、十勝管内の役場庁舎では初めて免震構造を採用し、また、ユニバーサルデザインや自然エネルギーの積極的な導入を図るなど、人と環境にやさしい庁舎となるよう建設したところであります。

新しくなりました庁舎が町民の皆さんに親しんでいただけるよう、そこで働く私たち職員が心を新たに住民福祉サービスの向上、そして、更なる幕別町の発展に全力を傾注してまいりたいと考えております。

(障がい者の働く店)

次に、障がい者の働く店「ぴよすく」について申し上げます。

新庁舎のオープンに合わせ、庁舎1階のカフェスペースでは、町内3つの障がい者の就労支援事業所で組織するワーカーズ利用組合が主体となり、売店の営業が開始されました。

営業は、月曜日から金曜日の午前10時から午後2時までとなっており、各事業所

から障がい者の方2名と支援員の方が、コーヒーやパンなどの販売を行っております。

今後とも、多くの町民の皆さんが利用され、障がいに対する理解を深めていただけるよう広報紙などを通じ周知を図るとともに、ワーカーズ利用組合と連携を図りながら障がい者の就労に結びつくよう支援してまいりたいと考えております。

(熊本地震に対する本町の対応について)

次に、熊本地震に対する本町の対応について申し上げます。

はじめに、4月14日から九州一帯で断続的に発生した熊本地震におきまして、お亡くなりになられた方々に対して謹んで哀悼の意を捧げるとともに、負傷された方々をはじめ、被災された方々に心からお見舞いを申し上げます。

本町の対応といたしましては、被災された方々の支援と被災地の復旧・復興に役立てていただくため、本定例会に義援金100万円の補正予算を計上させていただきました。

人的支援では、7名の職員の派遣を北海道町村会に報告するとともに、被災された方々の受入れ住宅として、忠類地区の公営住宅4戸と本町地区の特定公共賃貸住宅2戸の提供が可能である旨を北海道に報告いたしております。

物資につきましても、要請の際には速やかな対応ができるよう、準備を整えているところであります。

また、町民の皆さんからの善意を被災地に届けるため、日本赤十字社北海道支部幕別町分区では、4月22日から役場のほか、支所・出張所など5箇所に受付窓口が設置され、昨日現在で、87万1,987円の義援金が寄せられております。

今後、被災地から支援要請を受けた際には、可能な限り迅速かつ適切な対応に努めてまいりたいと考えております。

(農作物の作況)

次に、農作物の作況について申し上げます。

本年は、融雪が早く、春先の天候にも恵まれたことから圃場の乾燥が順調に進み、馬鈴薯の植え付けや甜菜の移植等の作業は、平年より早く始まり順調に終了いたしました。

しかしながら、5月8日に発生した最大瞬間風速20メートルを超える強風により、農作物等の被害が発生し、芽が出始めた直播の甜菜で50.6ヘクタール、移植で18.3ヘクタールの計68.9ヘクタールの被害が発生したことから、播き直しや豆類などへの転換が行われたところであります。

また、6月1日現在で調査いたしました農作物生育状況は、秋まき小麦は3日早く生育は「良」、牧草は6日早く生育は「良」、甜菜は一部の圃場で強風の影響により生育の差がみられるものの、5日早く生育は「良」となっております。

馬鈴薯、サイレージ用とうもろこし等の植え付けなど、全ての作業が早く進んでいる状況にありますが、この先天候に恵まれ、農作物が順調に生育し、農作業等の事故もなく、稔り豊かな秋が迎えられるよう、心から願っているところであります。

(町営牧場の入牧状況)

次に、町営牧場の入牧状況について申し上げます。

4月下旬から5月初旬の天候不順により草地肥料の散布が遅れ、昨年に比べ5日遅い入牧となりました。

忠類地区の2箇所牧場につきましては、5月25日、26日の2日間にわたり乳牛336頭、肉用雌牛52頭を、南勢牧場につきましては、27日に乳牛203頭の受入れを行い、町営牧場全体では591頭の入牧を済ませたところであります。

今後、さらに284頭の入牧が予定されておりますが、飼育に当たりましては、受胎率の向上を目指し適切な繁殖管理に努めてまいります。

(年金生活者等支援臨時福祉給付金)

次に、年金生活者等支援臨時福祉給付金について申し上げます。

国は、「一億総活躍社会」の実現に向け、高齢者世帯の年金も含めた所得全体の底上げと、平成28年前半の個人消費の下支えに資するよう、低所得の高齢者等を対象に「年金生活者等支援臨時福祉給付金」の支給を行うことといたしました。

給付対象者等につきましては、平成27年度分の町民税が非課税で、本年度中に65歳以上となる方に、1人につき3万円が支給されることとなっており、4月4日から役場、支所・出張所等で受付を開始し、5月31日現在、支給対象者2,876人に対し、申請者2,620人、申請率91.1%となっております。

今後は、対象者がもれなく給付金を受け取ることができるよう、周知を徹底してまいります。

さらに国では、低所得の障害・遺族基礎年金受給者を対象に、1人につき3万円、また、平成26年度から実施しております消費税率引上げによる影響緩和を目的とした給付金を1人につき3,000円を10月以降に支給する予定であり、本定例会に補正予算案を提出したところであります。

(チャレンジデー2016について)

次に、チャレンジデー2016について申し上げます。

本年で3回目の参加となりました「チャレンジデー」は、5月25日に開催され、高知県宿毛市との対戦で、初めて勝利を収めることができました。

本町(人口27,410人)の参加者数10,253人、参加率37.4%に対し、宿毛市は人口21,570人ではありますが、参加者数4,813人、参加率22.3%でありました。

戦いを終え、お互いの健闘を称えるため、5月26日から6月1日までの1週間、旧庁舎屋上の掲揚塔に両市町の旗を掲揚いたしました。

4月上旬に「幕別町チャレンジデー実行委員会」を立ち上げ、実行委員を中心に積極的にPRをしていただき、町内の体育団体や福祉団体をはじめ、事業所の皆さんなどのご協力のもと、1万人を超える方々に参加いただいたことに対し感謝とお礼を申

し上げます。

こうした取組を継続していくことによりまして、健康づくりやスポーツに親しむ機運が、なお一層盛り上がることを期待いたしております。

以上、当面する諸問題等につきまして、ご報告をさせていただきましたが、議員の皆さんには、引き続き町政の執行に対しまして、一層のご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。行政報告とさせていただきます。